

目次

I	総論
1	高齢者の健康状態の現状と課題
2	前期高齢者と後期高齢者の特徴（フレイルの進行）
3	フレイル、認知症、ロコモティブシンドローム（サルコペニア）、 低栄養・口腔機能（オーラルフレイル）
4	疾病予防と介護予防
5	医療保険者の視点から見た後期高齢者の状態像と課題
1	健康指標でみる後期高齢者の状態像（有病状況と多病の実態）
2	レセプト分析に基づく課題（後期高齢者の医療のかかり方）
6	現行の後期高齢者に対する保健事業の概略と課題
II	事例検討（先進的な市町村の取り組み）
1	自治体における取組みの概要
2	モデル事業における課題抽出と今後の展望
III	今後の後期高齢者の保健事業のあり方に対する提言
1	提言に至る背景
2	ガイドラインの検討
1	後期高齢者の特性を踏まえた健康支援の進め方
(1)	医療保険者の視点から見た後期高齢者の保健事業のあり方
(2)	健康指標の分析に基づく後期高齢者医療における健康支援のあり方
2	対象者およびアセスメントすべき項目の選定について
(1)	包括的なアセスメントについて
3	アセスメント（スクリーニング）のあり方について
4	効果的・効率的介入方法について
5	ガイドライン（試案）の提案
(1)	基本的考え方
(2)	アセスメント等
(3)	介入支援
(4)	実施上の留意事項

IV 各論（既存研究のまとめと分担報告等）
1. 研究要旨（既存研究のまとめ）
1) 運動器疾患
2) 認知症
3) フレイル（オーラルフレイル、低栄養を含む）
4) 循環器疾患
5) 糖尿病
2. 分担研究報告および研究協力者報告
1) フレイルに対する基本チェックリストでのスクリーニングの 妥当性に関する文献的検討 辻 一郎、他
2) 後期高齢者における運動器疾患（転倒・骨折予防） 原田 敦
3) ロコモティブシンドロームを中心とした後期高齢者の 保健事業のあり方 吉村典子
4) 後期高齢者におけるフレイル予防の意義と今後のあり方 葛谷雅文
5) 後期高齢者における糖尿病の重症化予防の意義とあり方 清原 裕
6) 後期高齢者における循環器系疾患の予防の意義 磯 博康
7) 後期高齢者における低栄養 杉山みち子、他
8) 後期高齢者における認知症に関する保健事業 島田裕之
9) 後期高齢者の健診項目に関する研究 近藤克則
10) 後期高齢者の医療の現状と保健事業について 津下一代
11) 後期高齢者の多病・多剤処方に関する研究 石崎達郎
12) 健康指標の分析に基づくデータヘルス計画の取り組み 森山美知子
VI 参考資料（エビデンステーブル）

